

なぜ、議会はこの陳情を採択しないのか?!

議会の役割を放棄していると思えない

(陳情第100号) 島根原子力発電所の稼働の是非に関する様々な諸課題を議会として意見聴取・論点整理・議論し、その内容を市民にわかりやすく情報提供をすることを求める陳情

陳情提出団体: 島根原発稼働の是非を問う住民投票を実現する会・米子

貴議会では「島根原子力発電所に係る諸問題の調査・研究に関すること、エネルギー政策に係る調査・研究に関すること」を目的として「原子力発電・エネルギー問題等調査特別委員会」が設置されています。

当該特別委員会において、島根原発の稼働の是非に関する諸課題を十分に論議していただき、また市民が島根原発の稼働の是非について「自分ごと」として考えることができるよう、その過程・結果等を、市民にわかりやすく情報提供をしていただくよう以下要望します。

記

1. 参考人制度、公聴会制度等を活用し、原子力発電を推進する専門家と慎重な意見を持つ専門家や市民からの意見聴取の場を設けてください。
2. 国の関係機関(原子力規制庁、内閣府、資源エネルギー庁)と中国電力株式会社による説明と質疑の場を議会としてさらに設けてください。

この陳情の不採択の理由は以下(赤字部分は、私のコメント)

「陳情にある意見聴取については、多様な意見をお持ちの市民の代表である議員の役割であり、既に議員の責務として果たすべきものと自覚されている」

個々の議員の自覚に委ねるのではなく、議会・委員会として行うべきであり、そのための特別委員会であるはず。

「論点整理・議論することについても、議会の役割であり、既に当たり前のこととして深める努力が常に働いているものと考える。」

「努力が常に働いているものと考える」(←奇妙な日本語)というのではなく、実際にやられているかどうか問題。やられていないからこそ、このような陳情が市民によって出されている。

「情報提供について、本議会は公開されており、傍聴者には資料も提供されている。ホームページや議会だよりでも開催結果を掲載するなど対応しているものと考える。」

全員協議会で実施された議会での国・中国電力の説明及び質疑(時間も非常に制限されていた)は、インタ

ーネット中継はされておらず、録画配信もされない。議事録もHP上には掲載されない。そもそも議事録ができるのは2~3ヶ月後、平日昼間に開催された議会の傍聴者以外は、誰も当日どのようなやりとりがされたか知ることはできない。

これで「対応している」といえるのか?

「国の関係機関による説明については、国が判断するものと理解している」

議会として市民の負託に応えるという自覚があれば、必要なことは当然国に要望すべき。

このような不採択の理由では、市民は到底納得できない。



今回のかわらばんの内容等に関して本会議での私発言(質問・討論(意見表明))の動画、ご覧いただけます。左記のQRコード、または、下記からの検索で。

「土光ひとし」検索 [本会議 動画]のページに

(12月21日本会議) 陳情採決: 8名が採択に賛成、17名が採択に反対

会派	蒼生会								政英会		よなご・未来				公明党			信風			共産党			一院 クラブ	無 所属	
陳情に関して、各議員の賛否	稲田清	尾沢三夫	奥岩浩基	門脇一男	田村謙介	三嶋秀文	森谷司	渡辺穰爾	岡田啓介	戸田隆次	国頭靖	土光均	西川章三	矢倉強	今城雅子	前原茂	安田篤	矢田貝香織	安達卓是	伊藤ひろえ	中田利幸	石橋佳枝	岡村英治	又野史朗	遠藤通	岩崎康朗
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	-

※岩崎氏は、議長のため